

## 令和4年度 福島県立郡山萌世高等学校 学校経営・運営ビジョン

[URL <https://housei-h.fcs.ed.jp>]

### 1 教育目標

- (1) 生涯にわたって自ら学び考える意欲を持ち、心身ともに健康で個性豊かな人間を育成する
- (2) 一人ひとりの生き方を尊重し、社会の発展に貢献できる心豊かな人間を育成する
- (3) 規律と責任を重んじる態度を身につけ、望ましい勤労観を有する人間を育成する

### 2 本校のスクールイメージ・目指す生徒像・教育の基本姿勢

- 〔スクールイメージ〕
- 学ぶ意欲のある人が、自由に学べる学校（「学びの自由」に満ちた学校）
  - 誇りを持つことのできる学校
  - 夢を実現できる学校
  - 明るく楽しい学校
- 〔目指す生徒像〕
- 自主性と自律心に富み、創造性豊かな人間（自主 自律 創造）
- 〔教育の基本姿勢〕
- 生徒一人ひとりを真に大切にする教育（生徒が学校生活の主役であり、主人公である）

### 「個別支援教育の推進」

校長 田母神 賢一

本校は、平成13年4月、「世に萌え出づる」という願いを校名に込め、全国にも例を見ない駅前ビルの中の高校として開校しました。開校当時より、「生徒一人ひとりを真に大切にする教育」を基本姿勢として、学びたいと思う人が自分に合った学び方で学べる学校づくりに取り組んできました。

「真」に大切にするためには、システムにおいても、学習内容や指導方法においても、不登校や人間関係でのつまずき経験など、多様な援助ニーズを持つ生徒一人ひとりに寄り添った教育が求められます。そのため本校では、午前10時すぎに登校する定時制課程・昼間主コース、午後2時半すぎに登校する定時制課程・夜間主コース、日頃は自学自習し、主に日曜日に通学する通信制課程、さらには社会人のための科目履修制度等、学ぼうとする人の生活状況や経歴に合わせていろいろな学び方ができるようなシステムを持っています。そして、特色あるカリキュラムのもと、それぞれの学びの状況に応じた指導を行っています。さらに、援助ニーズへの早期対応ときめ細かな支援が重要であることから、これまで本校で実践してきた支援をベースとしながら、医療や福祉等を含めた関係機関との連携も組織的に進めてまいります。

こうした本校ならではの「個別支援教育」を推進することで、一人ひとりが自信と誇りと将来への希望を持って笑顔で卒業できるよう支援するとともに、社会で自立し、地域を担う人材を育てまいります。

### 3 本年度の重点目標

定時制課程				通信制課程		
授業規律の定着と学力の向上	規範意識の醸成と社会性の育成	進路意識の高揚と進路希望の実現	保護者との連携と情報発信の強化	自学自習の習慣の育成と基礎学力の定着	生徒の学業継続と進路実現	円滑な人間関係と社会性の育成
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「授業心得」を周知徹底して学習規律の定着を図り、学ぶ環境を整えます。</li> <li>○生徒の適性や進路に応じた科目選択を奨め、将来必要となる資質・能力の育成を図ります。</li> <li>○少人数授業や習熟度別の個に応じた授業を展開し、生徒自らの学ぶ意欲を育みます。</li> <li>○校内研修の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ「分かる授業」の実践に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規範意識の醸成及び基本的な生活習慣の確立に向けた指導を丁寧に行い、社会性を育てます。</li> <li>○ホームルーム活動を充実させ、適切な人間関係を築く力を育てます。</li> <li>○学校全体であいさつ運動を推進します。</li> <li>○生徒会・委員会活動、部活動を活性化させ、目標に向かい仲間と協働し取り組む経験を積ませます。</li> <li>○スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との個別面談を計画的に行い、外部機関と連携しながら心のケアに努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3・4年間を見据えた進路計画に基づき、各学年に応じた進路指導を展開し、進路意識の高揚を図ります。</li> <li>○学校全体で個に応じた面接や進路相談を行い、進路希望の実現を支援します。</li> <li>○進路だよりを充実させるとともに、保護者との面談や保護者が参加できる進路説明会等を実施することにより、家庭との進路情報の共有化を図ります。</li> <li>○資格取得や検定試験を奨励し、積極的に支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者が学校に来る機会を増やすとともに、三者面談等を通して保護者と連携しながら生徒への指導を進めます。</li> <li>○学校ホームページや「携帯連絡網」による地域や保護者への情報発信を強化します。</li> <li>○体験入学や学校見学等を通し、中学生や地域に本校の特徴を理解してもらうよう努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の学習意欲喚起や難易度に配慮した適切なレポートを作成するとともに、提出レポートには丁寧な添削指導を行います。</li> <li>○スクーリングにおいては、個々に対応した、基礎学力の定着を図るための工夫をします。</li> <li>○試験問題については、生徒の努力が報われるような、適切な問題作成を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○レポート提出期限の厳守、スクーリングへの出席、定期試験の受験という「三本柱」に関わる指導を、あらゆる機会を捉えて実施します。</li> <li>○ホームルーム時の指導や「萌世通信」「学年だより」「通信制専用メール」「緊急時一斉メール」等の活用及び個別相談や、希望に応じ三者面談等による保護者との連携を通し、学業継続に向けた激励や指導助言を行います。</li> <li>○「進路の手引き」の活用や「進路説明会」「就職セミナー」等を実施し、生徒及び保護者の進路意識の高揚につなげ、学業継続と進路希望実現への意欲を喚起していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験的な諸活動への生徒の積極的な参加を促し、生徒間の交流促進と自己実現の意欲や社会性の育成に努めます。</li> <li>○スクーリング時の受講マナー等についての指導を通して、規律遵守等規範意識の醸成に努めます。</li> <li>○カウンセラー等による生徒・保護者の教育相談の場を設定し、悩みを解消したり、落ち着いた学校生活を送ることができるよう支援します。</li> </ul>

